

1 1. 教育

	タイトル	意見等
1	地方創生戦国時代に徳島が勝ちに行くために	○後藤田正純徳島県知事は大阪公立大学(旧大阪市立大学・大阪市住吉区杉本三丁目・JR阪和線杉本町駅東口すぐ)杉本キャンパスを視察の際においては、徳島大学における総合大学化の推進をしなければならない。 ※ 徳島大学総合科学部の学部改組によって法学部・経済学部・文学部を設置する。
2	個性と国際性を育む教育	○ 後藤田正純徳島県知事は個性を育む教育の取り組みで、県内すべての県立高等学校の普通科を文理学科へと学科改組を行わなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は個性を育む教育の取り組みで、徳島県立鳴門高等学校、徳島県立阿波高等学校、徳島県立脇町高等学校に理数科を復活させなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は個性を育む教育の取り組みで、徳島県立徳島科学技術高等学校と慶應義塾大学理工学部との高大連携教育事業が行わなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は国際性を育む教育の取り組みで、徳島県立徳島北高等学校を徳島県立徳島国際高等学校へ校名変更を行わなければならない。 ※ 徳島県立徳島国際高等学校に国際学科並びに国際バカロレアコースの学科の設置 ※ 東京都立国際高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、兵庫県立国際高等学校など ○ 後藤田正純徳島県知事は国際性を育む取り組みで、徳島県に東京外国語大学徳島校を誘致開学をしなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は国際性を育む教育の取り組みで、徳島県に世界の名門大学の誘致開学をしなければならない。 ※ オックスフォード大学、ハーバード大学、プリンストン大学、ケンブリッジ大学、スタンフォード大学、シカゴ大学、コロンビア大学、イエール大学、マサチューセッツ工科大学、カリフォルニア工科大学など
3	真に医師不足にある地方を救う大都市部から地方への実効性のある医師偏在対策	○ 後藤田正純徳島県知事は徳島文理大学を母体に慶應義塾大学徳島校を開校して、医学部医学研究科の開設を行わなければならない。 ○ 後藤田正純徳島県知事は慶應義塾大学医学部医学研究科に徳島県地域枠を設置しなければならない。
4	大阪公立大学	○ 後藤田正純徳島県知事は地方創生の観点から、徳島県に大阪公立大学徳島校を誘致開学しなければならない。 ※ 大阪府内の大阪府立高等学校並びに大阪市立高等学校、私立高等学校の受験生が確実に見込め、徳島県の人口増加につながる。 ⇒大阪府立住吉高等学校、大阪府立阿武野高等学校、大阪府立富田林高等学校、大阪府立長野高等学校、大阪桐蔭高等学校のⅠ類特進コース、履正社高等学校の国公立大学進学ゼミのなど